

芦田家旧蔵文書目録

収納袋と収納箱あり(法量:縦44.8cm×横10.2cm×高6.0cm) 蓋墨書(表)「御書出」(裏)「天明四甲辰年箱改」

【史料概要】

芦田家は、家老を輩出する家柄の一つで、宇土藩においては上級家臣に位置づけられる。芦田家の祖と言える芦田与兵衛元次は丹波国生まれで、もとは宮部継潤の家臣であった。宮部家を辞した後、慶長6年(1601)に豊前小倉で細川忠興(三斎)に750石で召し抱えられ、大阪冬・夏の陣にも出陣している。ただし、その後、芦田与兵衛嫡流家は熊本藩の家臣となり、宇土・芦田家は与兵衛の次男・十左衛門(史料番号2の蘆田十次郎)が興した分家である。熊本大学日本史研究室が所蔵する宇土細川家文書の「慶安五年 御家中進退附」によると、十左衛門は元和元年(1615)に豊前中津で三斎に200石で召し抱えられ、細川家の肥後入国後は、三斎に従い八代に移住し、三斎が寵愛した四男・立允(立孝)付きを命じられた。島原陣には立允付きの鉄炮頭として出陣している。

正保2年(1645)に立允・三斎が相次いで亡くなると、立允の子・行孝(後の初代宇土藩主)に仕え、そのまま宇土藩家臣となった。この十左衛門が、宇土藩士としては芦田家初代となる。史料番号3-1~2及び4-1~2の芦田十之丞は十左衛門の子と思われる。

本文書群は、元和4年(1618)の豊前中津時代の知行宛行状から最後の宇土藩主・細川行眞が文久2年に発給した知行宛行状の13点である。しかし、理由は不明だが、2代藩主・細川有孝から4代藩主・興里までの知行宛行状が欠けている。

史料番号	表題	年代	西暦	発給者	受給者	法量 縦×横(cm)	包紙	内容・備考
1	御書附	不詳	—	—	—	38.3×51.0	有	御誓詞案文カ 包紙ウハ書「御書附」
2	細川忠興(三斎)知行宛行状	元和4年6月	1618	細川忠興(三斎)	蘆田十次郎	42.0×57.5	有	豊前国宇佐郡に200石遣わず 包紙ウハ書「蘆田十次郎殿」
3-1	細川行孝知行宛行状	慶安5年9月	1652	細川行孝(初代)	芦田十之丞	38.8×56.3	有	益城郡碓村と平野村に150石遣わず 包紙ウハ書「芦田十之丞殿」
3-2	知行方目録	慶安5年9月	1652	細川行孝(初代)	芦田十之丞	38.7×56.2	有	No.3-1の知行目録 行孝のローマ字印(朱)あり
4-1	細川行孝知行宛行状	承応3年7月	1654	細川行孝(初代)	芦田十之丞	38.7×56.3	有	益城郡平野村に50石加増 包紙ウハ書「芦田十之丞殿」
4-2	知行方目録	承応3年7月	1654	細川行孝(初代)	芦田十之丞	38.8×56.9	有	No.4-1の知行目録 行孝のローマ字印(朱)あり
5	細川行孝知行宛行状	明暦3年7月	1657	細川行孝(初代)	芦田十左衛門	33.3×47.1	有	益城郡永村のうち100石加増 包紙ウハ書「芦田十左衛門殿」
6	細川興文知行宛行状	宝暦5年2月	1755	細川興文(5代)	芦田瀨兵衛	39.5×54.5	有	益城郡のうち300石を遣わず 包紙ウハ書「芦田瀨兵衛殿」
7	細川興文知行宛行状	明和4年正月	1767	細川興文(5代)	芦田瀨兵衛	39.2×52.8	有	益城郡のうち50石加増 包紙ウハ書「芦田瀨兵衛殿」

史料 番号	表題	年代	西暦	発給者	受給者	法量 縦×横(cm)	包紙	内容・備考
8	細川立礼知行宛行状	安永3年8月	1774	細川立礼(6代)	芦田瀬兵衛	39.8×54.6	有	益城郡のうち350石遣わす 包紙ウハ書「芦田瀬兵衛殿」
9	細川立之知行宛行状	享和2年8月	1802	細川立之(7代)	芦田栄吉	39.8×54.5	有	益城郡のうち350石遣わす 包紙ウハ書「芦田栄吉殿」
10	細川立政知行宛行状	文政3年8月	1820	細川立政(8代)	芦田十左衛門	39.8×55.0	有	益城郡のうち350石遣わす 包紙ウハ書「芦田十左衛門殿」
11	細川之壽(行芬)知行宛行状	文政11年8月	1828	細川之壽(9代)	芦田十之允	39.6×54.6	有	益城郡のうち350石遣わす 包紙ウハ書「芦田十之允殿」
12	細川立則知行宛行状	嘉永5年8月	1852	細川行則(10代)	芦田十左衛門	39.7×55.2	有	益城郡のうち320石遣わす 包紙ウハ書「芦田十左衛門殿」
13	細川行真知行宛行状	文久2年8月	1862	細川行真(11代)	芦田瀬兵衛	42.5×57.6	有	益城郡のうち300石遣わす 包紙ウハ書「芦田瀬兵衛殿」

■ 目録 No. 1

我等儀、今度家相統蒙
仰、難有事^ニ候、近年打統
代替にて家中之者共別^而
可為心勞処、不相變精勤
之段、令満足候、弥以加謹慎
公義御法度自分法度堅
相守、諸事先規之通可
相心得者也

■ 目録 No. 4 1

肥後国於益城郡平野村
之内、為加増五拾石、先知合式百石
遣之訖、目録在別紙、永可
知行者也、仍状如件

承応参年七月日

丹後 行孝（花押）

芦田十之丞殿

■ 目録 No. 2

豊前国宇佐郡於平ヶ倉村
下方村・櫛本村・塔尾村
山城村之内、式百石遣之訖、目録
在別紙、永可知行者也、仍状
如件

■ 目録 No. 4 2

知行方目録

一、高 五拾石

益城郡

平野村

元和四年六月日

（忠興花押）

芦田十丞殿

蘆田十次郎殿

■ 目録 No. 5

肥後国於益城郡永村之
内、重^而為加増百石、先知合
參百石遣之訖、永可知行者也、
仍状如件

■ 目録 No. 3 1

肥後国於益城郡碓村
平野村之内、百伍拾石遣之
訖、目録在別紙、永可知行
者也、仍状如件

明曆三年七月日

丹後 行孝（花押）

帶刀

慶安五年九月日

行孝（花押）

芦田十左衛門殿

芦田十之丞殿

■ 目録 No. 6

肥後国於下益城郡之内、
三百石遣之訖、別紙目録^者
追^而地方^ニ直候節、可相渡候、
永可知行者也、仍状如件

■ 目録 No. 3 2

知行方目録

益城郡

一、高 七拾五石

碓村

同郡

一、高 七拾五石

平野村

合百伍拾石

宝曆五年二月日

興文（花押）

芦田瀨兵衛殿

慶安五年九月日（行孝ローマ字印）

芦田十之丞殿

■ 目錄 No. 7

肥後国於下益城郡之内、
為加増五拾石、先知合三百五拾石
遣之訖、別紙目錄者追而
地方_二直候節、可相渡候、永
可知行者也、仍状如件

中務

明和四年正月日

興文（花押）

芦田瀨兵衛殿

■ 目錄 No. 11

肥後国於下益城郡之内、
三百五拾石遣之訖、別紙目錄者
追而地方_二直候節、可相渡候、
永可知行者也、仍状如件

中務

文政十一年八月

之壽（花押）

芦田十之允殿

■ 目錄 No. 8

肥後国於下益城郡之内、
三百五拾石遣之訖、別紙目錄者
追而地方_二直候節、可相渡候、
永可知行者也、仍状如件

和泉

安永三年八月日

立礼（花押）

芦田瀨兵衛殿

■ 目錄 No. 12

肥後国於下益城郡之内、
三百式拾石遣之訖、別紙目錄者
追而地方_二直候節、可相渡候、
永可知行者也、仍状如件

山城

嘉永五年八月

立則（花押）

芦田十左衛門殿

■ 目錄 No. 9

肥後国於下益城郡之内、
三百五拾石遣之訖、別紙目錄者
追而地方_二直候節、可相渡候、
永可知行者也、仍状如件

和泉

享和二年八月

立之（花押）

芦田栄吉殿

■ 目錄 No. 13

肥後国於下益城郡之内、
三百石遣之訖、別紙目錄者
追而地方_二直候節、可相渡候、
永可知行者也、仍状如件

主米輔

文久二年八月

行眞（花押）

芦田瀨兵衛殿

■ 目錄 No. 10

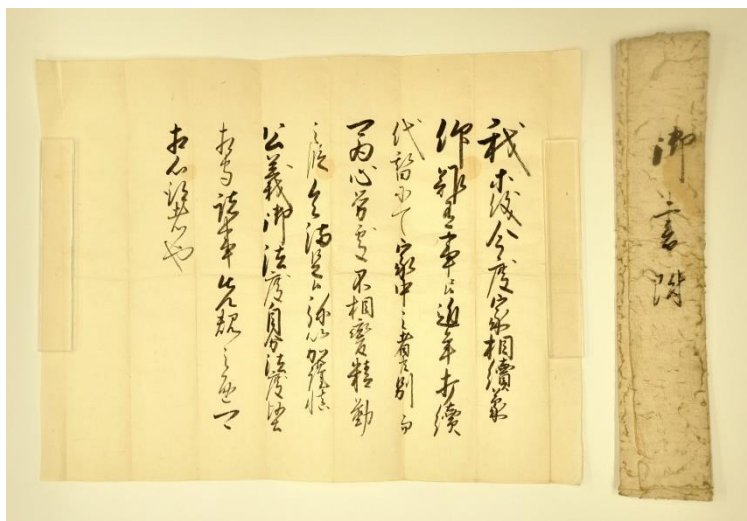
肥後国於下益城郡之内、
三百五拾石遣之訖、別紙目錄者
追而地方_二直候節、可相渡候、
永可知行者也、仍状如件

中務

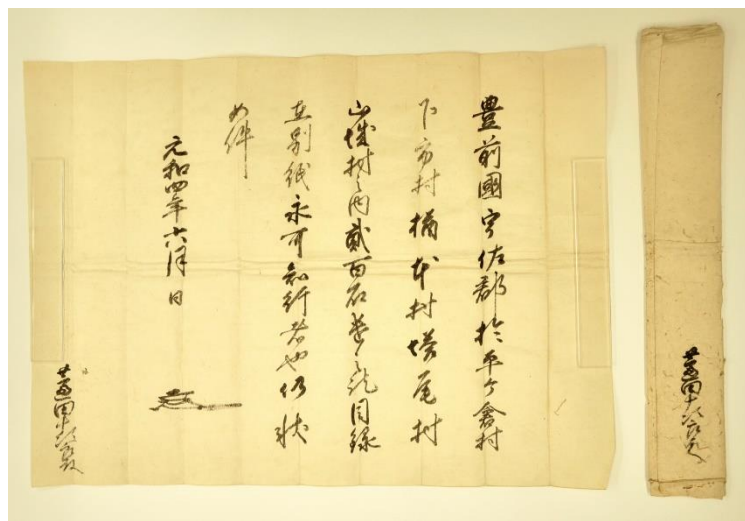
文政三年八月

立政（花押）

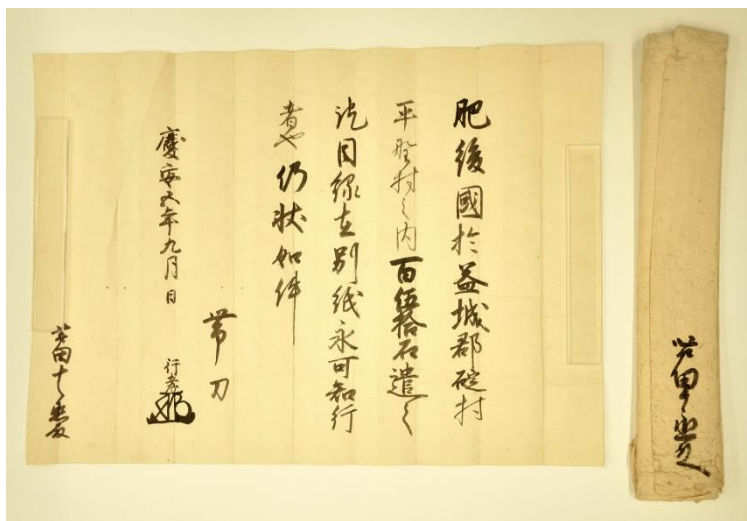
芦田十左衛門殿



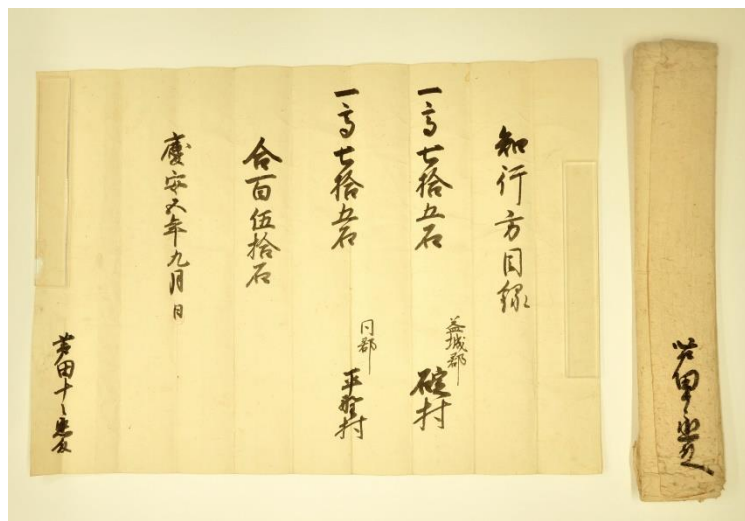
目録No.1 御書附 (年不詳)



目録No.2 細川忠興知行宛行状 (元和4年)



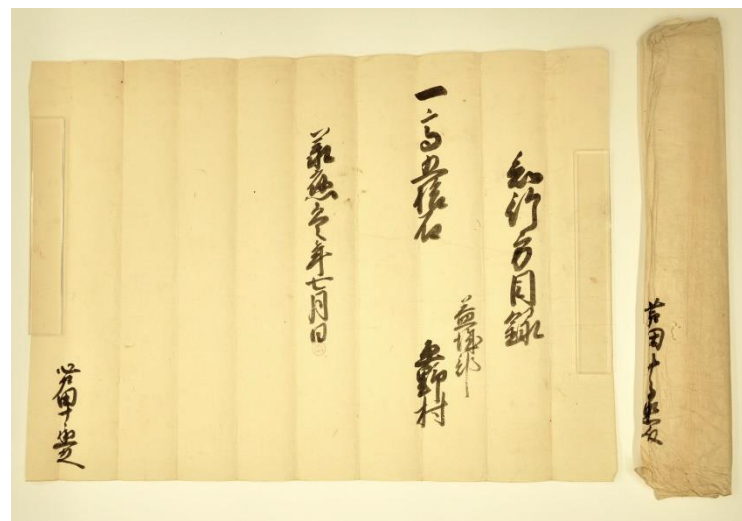
目録No.3-1 細川行孝知行宛行状 (慶安5年)



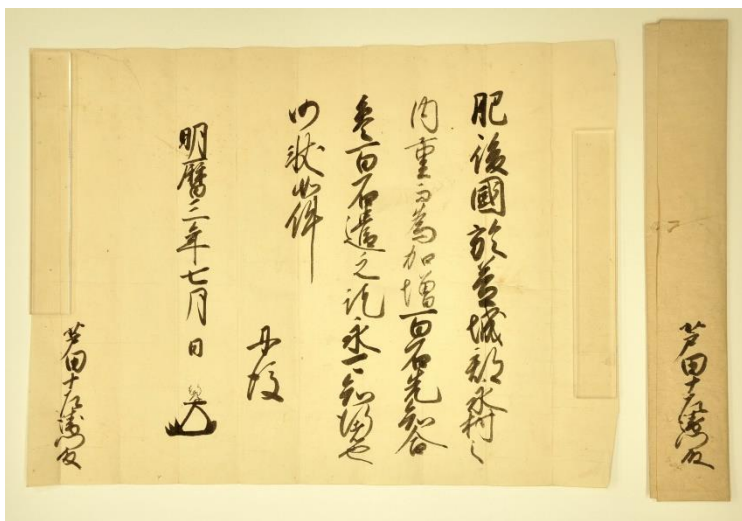
目録No.3-2 知行方目録 (慶安5年)



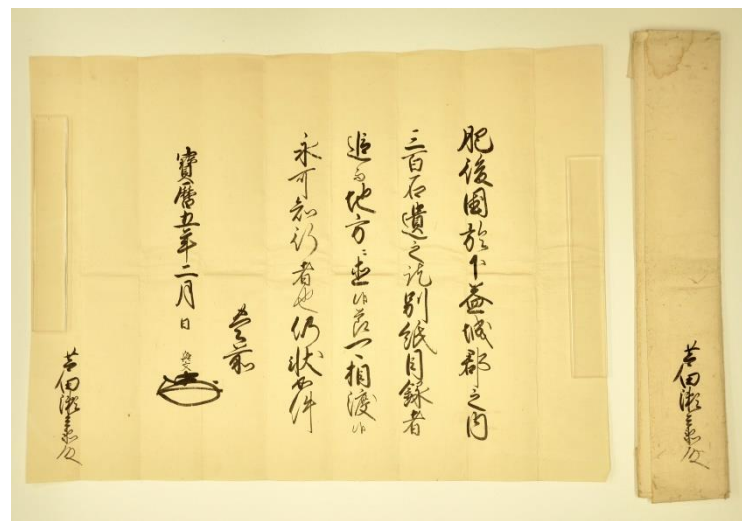
目録No.4-1 細川行孝知行宛行状 (承應3年)



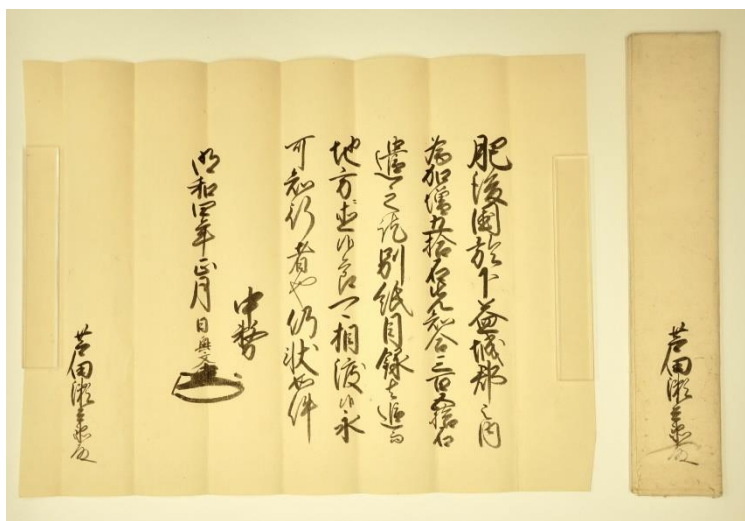
目録No.4-2 知行方目録 (承應3年)



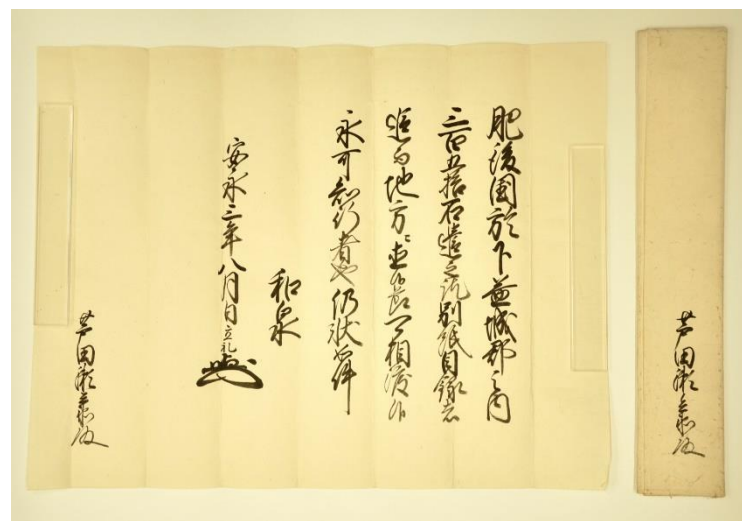
目録No.5 細川行孝知行宛行状 (明曆3年)



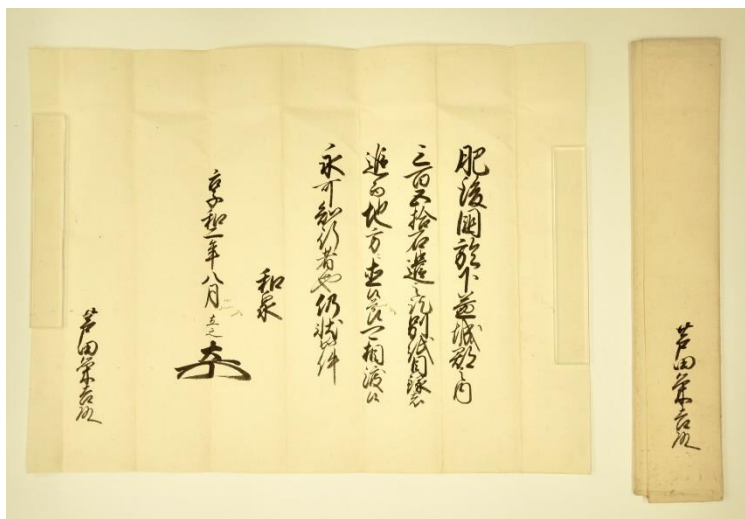
目録No.6 細川興文知行宛行状 (宝曆5年)



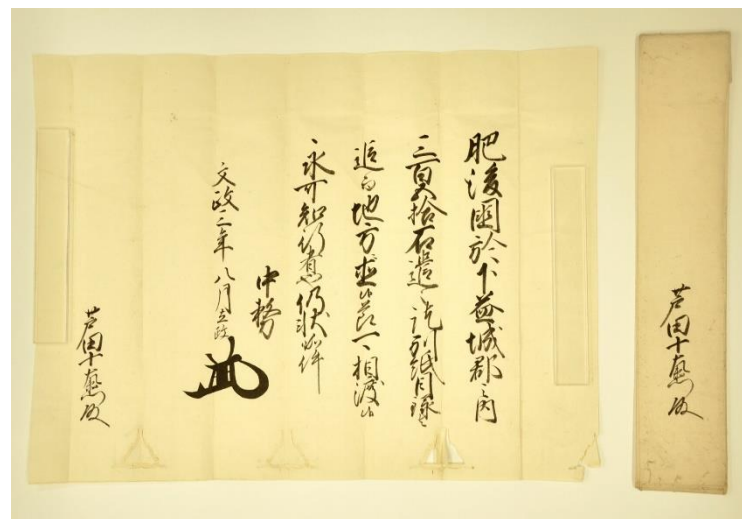
目録No.7 細川興文知行宛行状 (明和 4 年)



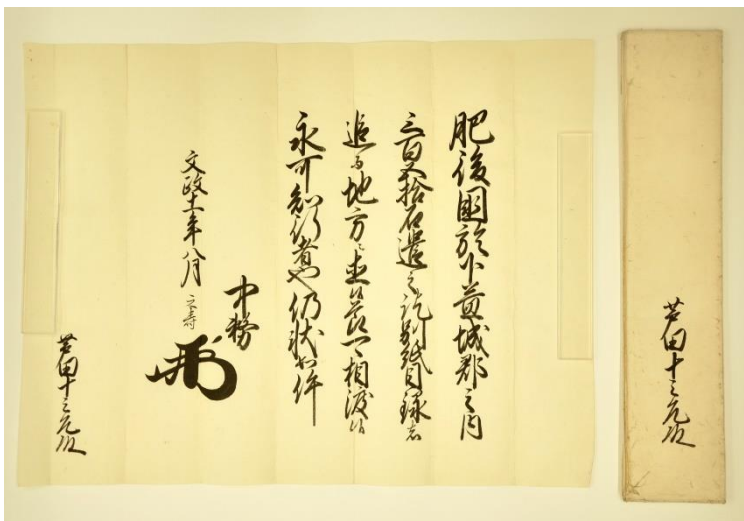
目録No.8 細川立礼知行宛行状 (安永 3 年)



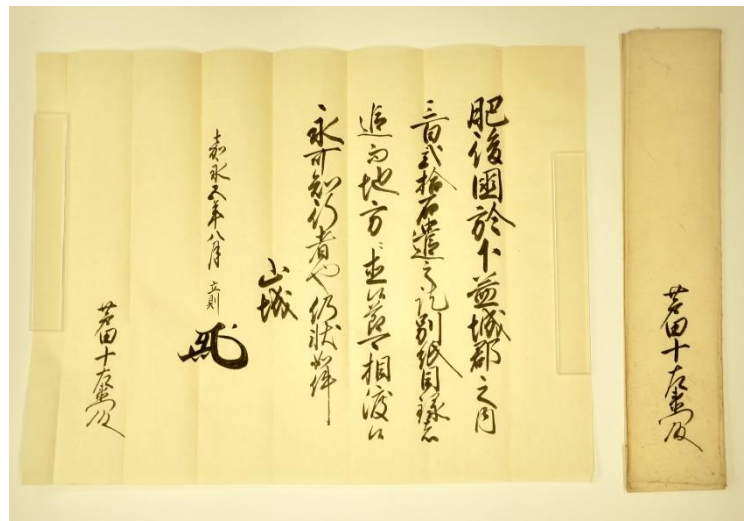
目録No.9 細川立之知行宛行状 (享和 2 年)



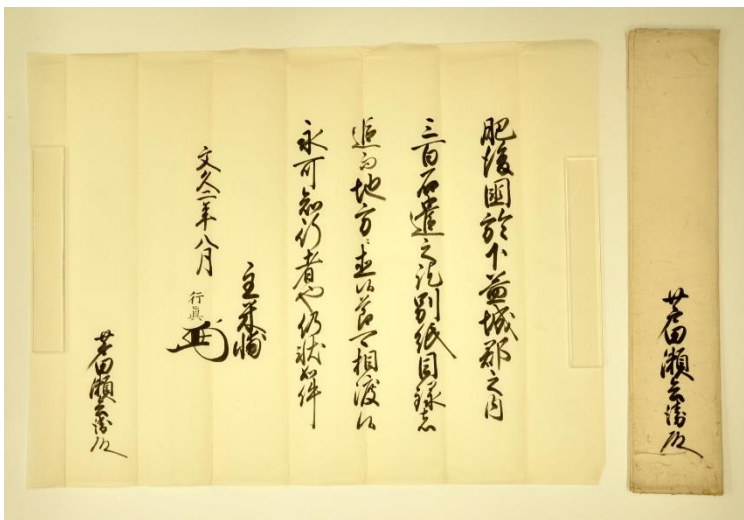
目録No.10 細川立政知行宛行状 (文政 3 年)



目錄No.11 細川之壽知行宛行狀（文政 11 年）



目錄No.12 細川立則知行宛行狀（嘉永 5 年）



目錄No.13 細川行真知行宛行狀（文久 2 年）